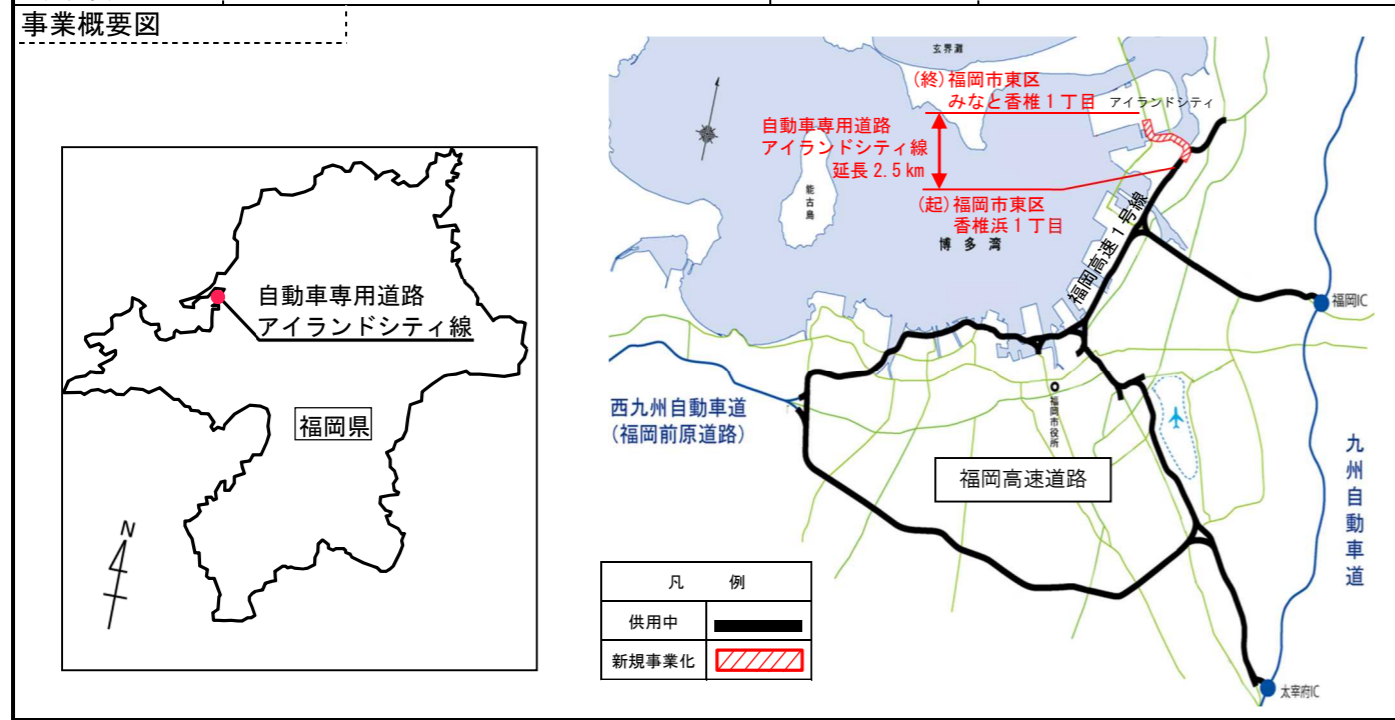


新規事業採択時評価結果（平成28年度新規事業化箇所）

担当課：都市局 街路交通施設課 道路局 高速道路課
 担当課長名： 神田 昌幸 吉岡 幹夫

事業の概要

事業名	自動車専用道路アイランドシティ線	事業区分	街路 都市高速道路	事業主体	福岡市 福岡北九州高速道路公社
起終点	自：福岡市東区香椎浜1丁目 至：福岡市東区みなと香椎1丁目	延長	2.5 km		
事業概要	アイランドシティ線は、福岡高速1号線と博多港（アイランドシティ地区）を結ぶ延長2.5 kmの自動車専用道路である。福岡都市高速道路を介し、九州自動車道及び西九州自動車道に直結され、アイランドシティ地区と九州各地を結ぶ広域的な交通ネットワークを形成する。				
事業の目的、必要性	本路線は、福岡市東部地区の交通課題である海の中道方面への交通渋滞を緩和するとともに、アイランドシティ地区において、立地される広域施設（福岡市立こども病院（平成26年11月開院）や新青果市場（平成28年2月開場）など）や国際拠点港湾である博多港における港湾物流により、広域的な交通需要が増大することに対応するため、整備を行うものである。これにより、アイランドシティ地区と九州各地を直結し、高速性・定時性の高い幹線道路ネットワークを形成するものである。				
全体事業費 (建設費のみ)	292億円	計画交通量	20,000台/日（H42）		



関係する地方公共団体等の意見
 福岡県、福岡市及び福岡都市圏広域行政推進協議会（都市圏17市町）より、早期整備に向けての要望・期待が大きい。また、福岡県、福岡市及び福岡北九州高速道路公社において、早期事業化について合意し、協力体制が確立している。本事業は、福岡市施行による街路事業と福岡北九州高速道路公社施行による有料道路事業との合併施行方式により実施。両事業とも平成28年度より着手。

学識経験者等の第三者委員会の意見
 —

事業採択の前提条件
 費用対便益：便益が費用を上回っている。
 手続きの完了：都市計画決定済みであり、円滑な事業環境が整っている。（平成25年7月）

事業評価結果

費用対便益	B/C	2.1	総費用 247億円 （事業費：240億円 維持管理費：7億円）	総便益 523億円 （走行時間短縮便益：421億円 走行費用減少便益：59億円 交通事故減少便益：43億円）	基準年 平成27年
	感度分析の結果	交通量変動	B/C=1.9 (交通量-10%)	B/C=2.3 (交通量+10%)	
		事業費変動	B/C=1.9 (事業費+10%)	B/C=2.4 (事業費-10%)	
	事業期間変動	B/C=2.0 (事業期間+20%)	B/C=2.2 (事業期間-20%)		
事業の影響	自動車や歩行者への影響	評価項目	評価	根拠	
		渋滞対策	◎	一般道からの交通の転換により混雑緩和が見込まれる 【渋滞損失時間の改善】 並行区間：整備なし 約97.1万人・時間/年 → 整備あり 64.9万人・時間/年 (約32.2万人・時間/年の削減) 福岡市及び周辺市町：整備なし 約8,150万人・時間/年 → 整備あり 約7,528万人・時間/年 (約622万人・時間/年の削減) 【その他の特徴】 渋滞が著しい香椎アイランド線片男佐橋交差点付近の渋滞緩和が期待される。 交差点需要率（整備前1.16→整備後0.87）	
		事故対策	○	周辺の一般道路から自動車専用道路への交通の転換により、死傷事故の減少が見込まれる。 【死傷事故率】約135件/億台km（現況：香椎アイランド線、片男佐橋交差点付近） 全国平均：約93.7件/億台・km（約1.4倍）	
		歩行空間	—	注目すべき影響はない。	
	社会全体への影響	住民生活	○	・二次救急医療施設であり九州で唯一の小児専門病院である福岡市立こども病院（平成26年11月開院）及び福岡市民の新たなスポーツ拠点として整備する福岡市総合体育館（平成30年度開館予定）へのアクセス向上。（福岡市役所～アイランドシティ地区の所要時間24分→17分）	
		地域経済	◎	・特定重要港湾である博多港（アイランドシティ地区）へのアクセス向上。（アイランドシティ地区～福岡ICの所要時間15分→9分、博多港国際貨物取扱量約91万TEU（平成26年実績）） ・市内3市場を統合した新青果市場（平成28年2月開場）へのアクセス向上。（新青果市場～福岡ICの所要時間15分→9分、取扱量32万トン（平成26年実績））	
		災害	○	・福岡市東部地区の災害拠点とのネットワークを形成するとともに、第1次緊急輸送道路である国道3号や国道495号の代替道路としての機能を確保し、道路ネットワークの信頼性も向上する。	
		環境	○	・周辺道路の渋滞緩和により旅行速度が向上し、CO2約5千t-CO2/年削減、NOx約17t/年削減、SPM約1.6t/年の削減が期待される。	
		地域社会	○	・福岡市東部地域と福岡市都市部（天神・博多駅など）とのアクセス向上。 ・広域的な観光施設である国営海の中道海浜公園へのアクセス向上。（平成26年度入園者数：約205.8万人/年）	
	事業実施環境	○	・福岡市基本構想第9次基本計画（平成24年12月策定）において、アイランドシティ地区への交通ネットワークの充実・強化を目的として、本路線が位置づけられている。 ・港湾関係者、青果市場関係者、商工会議所等から早期整備の要望がなされている。		

採択の理由

費用便益費が2.1と便益が費用を上回っていると同時に、都市計画手続が完了し、事業採択の前提条件が確認できる。
 また、香椎アイランド線片男佐橋交差点等において慢性的な渋滞が発生しており、当該事業実施による改善効果は大きく、博多港等へのアクセス向上、アイランドシティ線沿線地域の交通環境改善、当該地域の道路ネットワークの信頼性向上の観点からも当該事業の必要性・効果は高いと判断できる。
 以上より、本事業を平成28年度予算要求の新規事業箇所として要求する。

※総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。